

平成29年度

学校評価アンケート集計結果

刈谷市立富士松東小学校

1 学校評価アンケート調査対象及び実施期間 児童(3～6年生)、保護者、教職員(平成29年12月実施) ※すべて無記名

2 学校評価アンケート調査結果及び分析・考察

(回答者数) 児童296名 保護者423名 職員24名

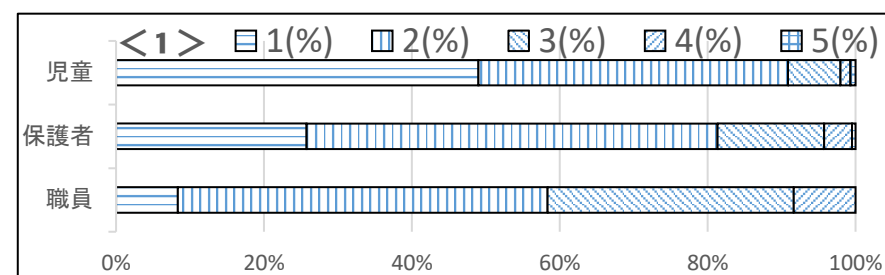
(回答方法及び結果の表示方法) 各設問に対し以下のような項目で回答してもらい、その数を集計し、全体数に対する%で表示した。

1よくあてはまる 2ややあてはまる 3あまりあてはまらない 4あてはまらない 5よく分からない

※各設問に関する結果と分析・考察を以下に示す。

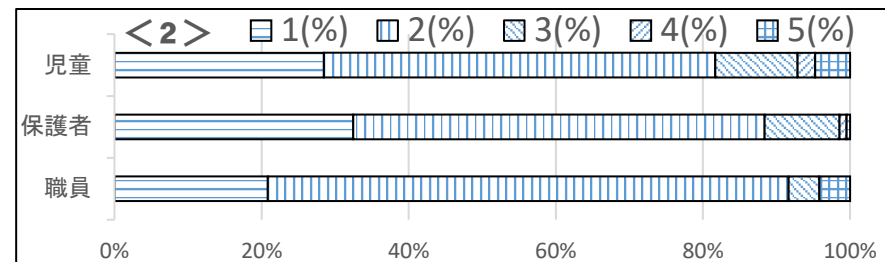
<1>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	友達や保護者、地域の人に対しあいさつをしている。	49	42	7.1	1.4	0.7
保護者	子どもは、保護者や地域の人に対しあいさつのできる子に育っている。	26	56	14	3.8	0.5
職員	子どもたちは、友達や保護者、地域の人に対しあいさつのできる子に育っている。	8.3	50	33	8.3	0

「1+2」が児童は90%を越えるが、職員は60%に満たない。地域の方からや立番指導の保護者から時々児童のあいさつが十分でないと指摘を受けるからであると考え、「あかるいあいさつ」は本校の教育の根幹となる言葉である。地域の方にもよりあいさつをするよう指導していきたい。



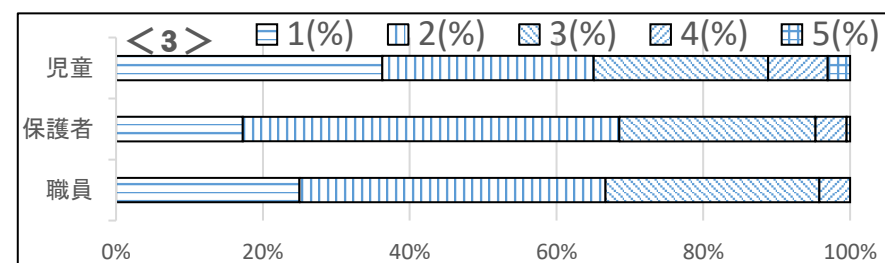
<2>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	人に対して優しい声かけや思いやりのある行動ができています。	28	53	11	2.4	4.7
保護者	子どもは、人に対する思いやりや、やさしい気持ちをもった子に育っている。	32	56	10	0.9	0.5
職員	子どもたちは、人に対する思いやりや、やさしい気持ちをもった子に育っている。	21	71	4.2	0	4.2

児童は「1+2」が80%強であり、やや厳しく分析している。教師の説話や道徳の授業を通して、人の気持ちを考えることやどのように声かけをしたらよいか等は、よく考えさせるようにしている。売り言葉に買い言葉でつい心ない言葉を言ってしまうよう粘り強く指導していきたい。



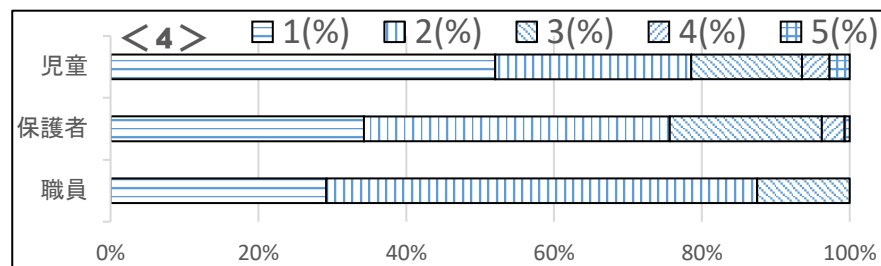
<3>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	発言で、自分の考えや思いを言うことができています。	36	29	24	8.1	3.1
保護者	子どもは、自分の考えや思いを伝えることのできる子に育っている。	17	51	27	4.3	0.5
職員	子どもたちは、自分の考えや思い、願いを伝えることのできる子に育っている。	25	42	29	4.2	0

児童、保護者、職員の三者とも「1+2」が70%未満である。自分の意見を頭の中でまとめたり、あるいは紙に書いたりして発言するような機会を授業の中で増やしていく必要がある。また、言った意見が尊重されるクラスの雰囲気づくりも大切であると考え。



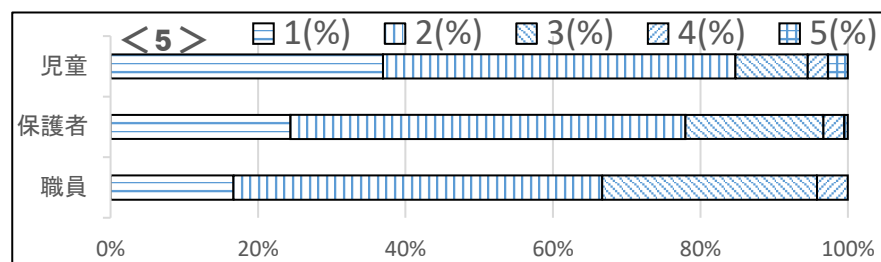
<4>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	体育や体づくり運動、遊び等を通して、体をじょうぶにしようとがんばっている。	52	27	15	3.7	2.7
保護者	子どもは、体育や遊びを通して体を鍛えることのできる子に育てている。	34	41	21	3.1	0.7
職員	子どもたちは、体育や行事、体づくり運動、遊び等を通して体を鍛えることのできる子に育てている。	29	58	13	0	0

体育や体づくり運動検定など一生懸命取り組んだ児童は多い。しかし、それが体をじょうぶにすることまで至っていないということが分かった。楽しみながら一生懸命取り組むことが、生涯体育の基礎ともなるので、声かけや励ましをしていきたい。



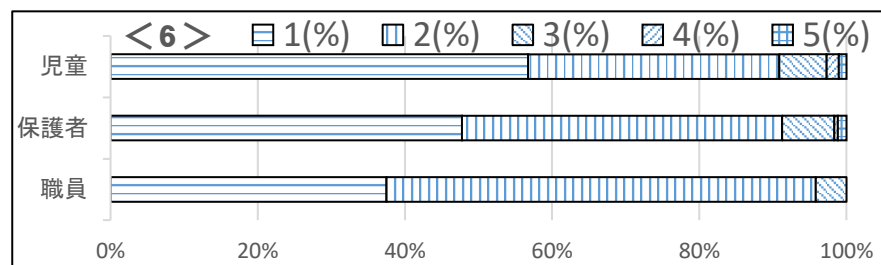
<5>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	あいさつやお礼を言うことや時間を守ることがしっかりできている。	37	48	9.8	2.7	2.7
保護者	子どもは、あいさつやお礼を言う、時間を守るなどの基本的な社会性を身に付けてきている。	24	54	19	2.8	0.5
職員	子どもたちは、あいさつやお礼を言う、時間を守るなどの基本的な社会性を身に付けてきている。	17	50	29	4.2	0

「1+2」が児童は80%を超えているのに対し、保護者、職員は80%未満である。こういった社会性を身に付けるということは、場面に応じた適切な指導が必要である。機会を逃さず、日頃から指導していきたい。



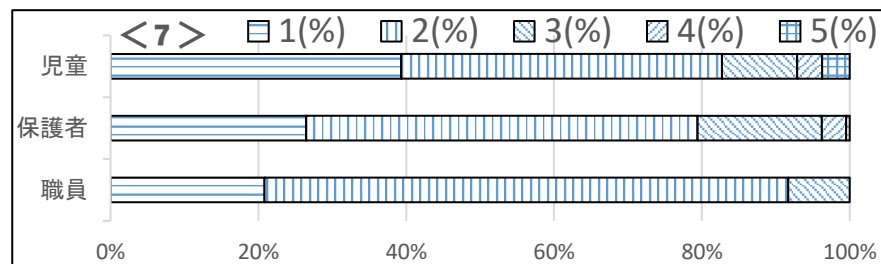
<6>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	係・委員活動などの自分の仕事や清掃にしっかり取り組んでいる。	57	34	6.4	1.7	1
保護者	子どもの係・委員活動等の自分の仕事に対する取り組み方は、前向きになっている。	48	43	7.1	0.5	1.2
職員	子どもたちは、係・委員活動、清掃、自分の仕事に対する取り組み方は、前向きになるよう指導している。	38	58	4.2	0	0

「1+2」が三者とも90%を超える好ましい結果となった。自分自身の仕事(役割)を果たすことが、自分自身を伸ばすことやクラス・学校のためになることを伝え、しっかりできたときには褒めて、児童の自己肯定感・自己有用感につなげていきたい。



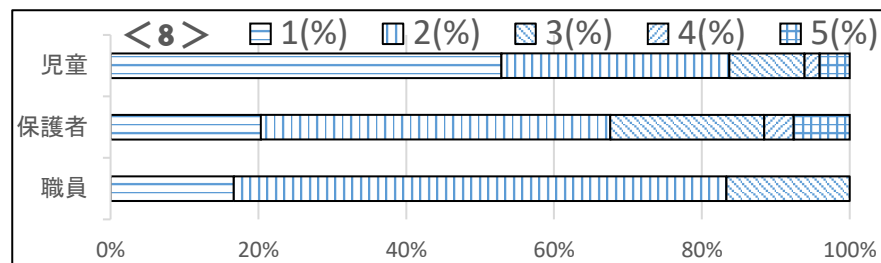
<7>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	授業に進んで参加している(取り組んでいる)。	39	43	10	3.4	3.7
保護者	子どもは、基礎的・基本的な学力を身に付けてきている。	26	53	17	3.3	0.5
職員	子どもたちの基礎的・基本的な学力を身に付けるような授業ができています。	21	71	8.3	0	0

「1+2」が保護者は80%未満であった。全体授業でありながらも、個々の力をより伸ばせるような授業を工夫していくことが重要である。宿題等も含め、児童の基礎的・基本的な学力を伸ばせる取組を考えていきたい。



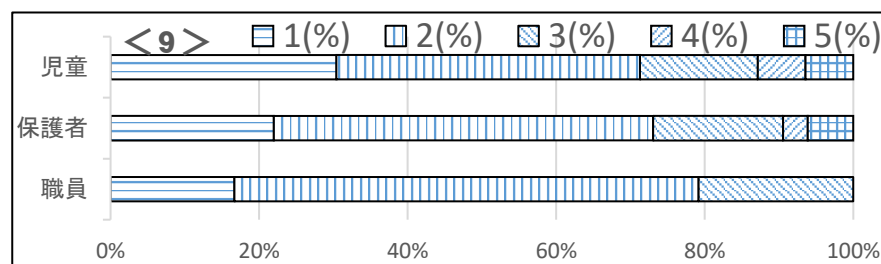
<8>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	授業は分かりやすいと思う。	53	31	10	2	4.1
保護者	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	20	47	21	4	7.6
職員	子どもたちにとって分かりやすい授業をめざし、工夫を取り入れている。	17	67	17	0	0

「1+2」が児童、職員は80%超であったが、保護者は、70%未満であった。日頃から教師には、「一授業一工夫」と話している。さらに、それが子どもの「分かりやすい」につながるように改善していくことが必要である。



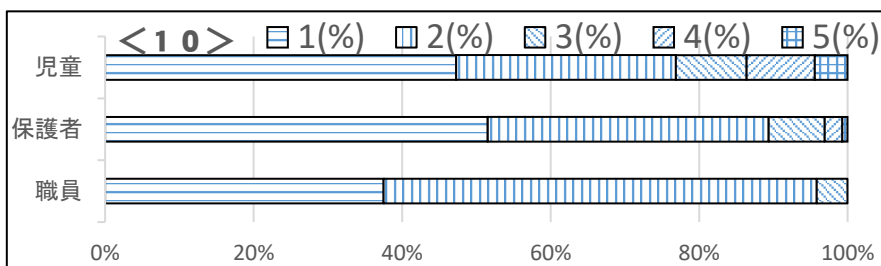
<9>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	授業には話し合いや教え合いをする場面がたくさんある。	30	41	16	6.4	6.4
保護者	学校は、子どもの意欲を高めたり子ども同士が学び合える授業づくりをしている。	22	51	17	3.3	6.1
職員	子どもたちの意欲を高めるために、かわり合いをしたり、学び合いをしたりする授業づくりをしている。	17	63	21	0	0

新指導要領には、主体的・対話的で深い学びを取り入れていくことが求められている。そのためには、話し合いや学び合い、教え合いが不可欠である。取り入れることはもちろんのこと、どうすればより授業が深まるかも考えていきたい。



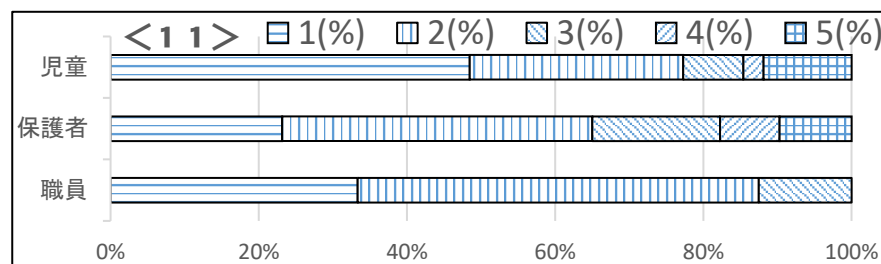
<10>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	学校へ来るのが楽しい。	47	30	9.5	9.2	4.4
保護者	子どもは、楽しく学校に通っている。	52	38	7.6	2.4	0.7
職員	子どもは、富士松東小へ楽しく通ってきている。	38	58	4.2	0	0

「3+4」の回答をした児童が20%弱いたことを真摯に受け止めなくてはならない。教師や保護者が思っている以上にその数が多い。日頃から児童との会話やふれあいを多くとり、子どもたちの心の声を聞いていくように努力する必要がある。



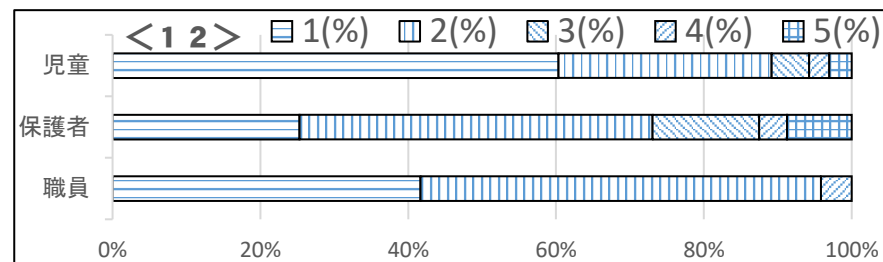
<11>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	先生は、困った時や悩みがある時に、話を聞いたり相談に乗ったりしてくれる。	48	29	8.1	2.7	12
保護者	子どもは、困った時や悩みがある時に先生が相談に乗ってくれると言っている。	23	42	17	8	9.7
職員	子どもたちが困った時や悩みがある時に、話を聞いたり相談に乗ったりするなど誠実な対応ができています。	33	54	13	0	0

困ったときや悩んでいる様子が見られたら、相談に来るのを待つのではなく、教師から積極的に声をかけていくことを徹底したい。児童、保護者ともに、「分からない」と回答した人が10%程度おり、アンケートとして答えにくい設問であったことは否めない。



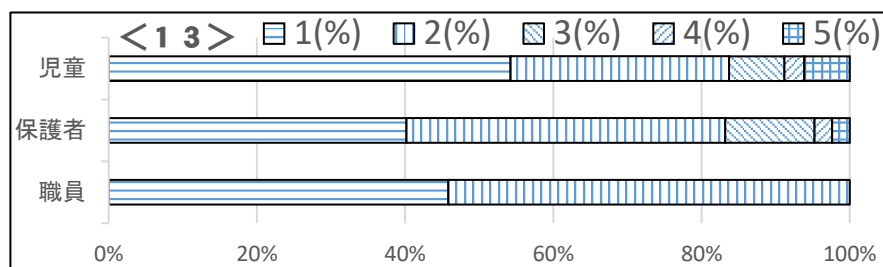
<12>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	仲間はずれやいじめをしないよう心がけている。	60	29	5.1	2.7	3.1
保護者	学校・先生は、いじめを許さない一人一人を大切に教育を進めている。	25	48	14	3.8	8.7
職員	仲間はずれやいじめを許さない一人一人を大切に教育を進めている。	42	54	0	4.2	0

「1+2」の回答者が児童、職員は90%程度であったが、保護者は70%超という結果であった。いじめは許さないという強い信念のもと指導に当たり、指導の内容をきちんと説明することが保護者の安心につながると思うので、その点に配慮していきたい。



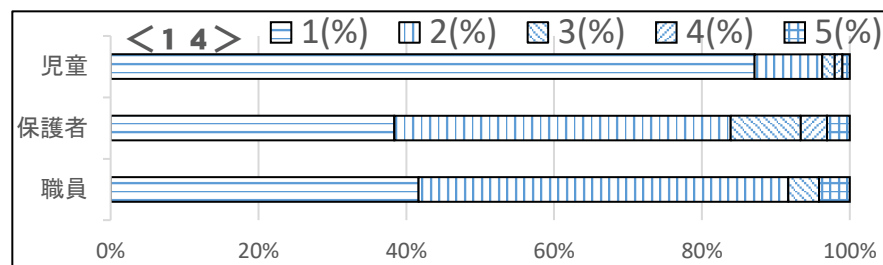
<13>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	先生は、自分やクラスの人々ががんばったことをちゃんとほめてくれる。	54	29	7.5	2.7	6.1
保護者	先生は、子どものよさや努力したことなどをしっかり認めようとしている。	40	43	12	2.4	2.4
職員	子どもたちのよさや努力したことなどを進んで認めようとしている。	46	54	0	0	0

がんばったことをきちんと褒めることで子どもは成長していくと思うので、些細と思われることでもきちんと見逃さず、きちんと褒めていけるように職員一同がんばりたい。



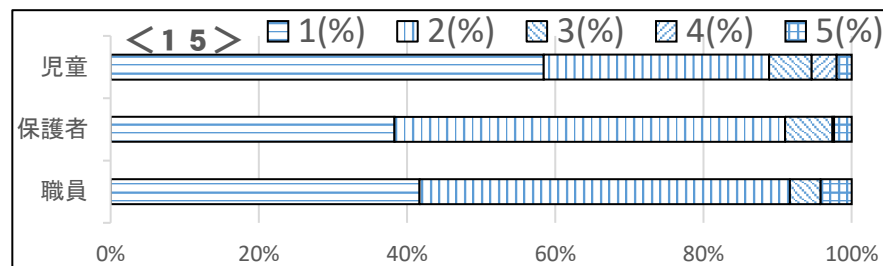
<14>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	学校に仲の良い友達がいる。	87	9.2	1.7	1	1
保護者	学校・先生は、保護者に対して誠意をもった対応をしたり相談に応じたりしている。	38	45	9.5	3.6	3.1
職員	保護者に対して誠意をもった対応をしたり相談に応じたりしている。	42	50	4.2	0	4.2

児童と保護者、職員とで設問内容が異なっている。保護者からは「1+2」で80%以上の回答をいただいた。引き続きこの数字が少しでも高くなるように誠意をもった対応をしていけるよう心がけていきたい。



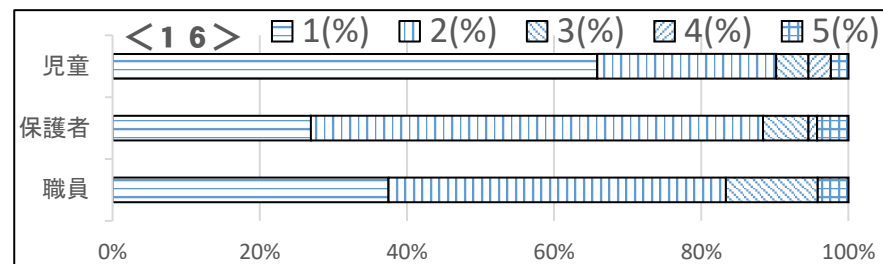
<15>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	学校であったことを家で話したり、連絡プリントなどをしっかりお家の方に渡している。	58	30	5.7	3.4	2
保護者	学校は、授業や学校行事を参観する機会を設けたり、学校だより・ホームページを通して情報発信に努めている。	38	53	6.4	0.2	2.4
職員	保護者に対して学年だより、学級通信、連絡帳等を通して情報発信ができています。	42	50	4.2	0	4.2

学校では、月1回の学校だより・学年だよりをはじめ、ホームページやきずなネットを通して適切な情報発信を行うよう心がけている。また、ホームページにはその日の出来事を日記としてアップさせているので、ぜひとも見ていただきたいと思うし、ご期待に応えられるような内容にしていきたい。



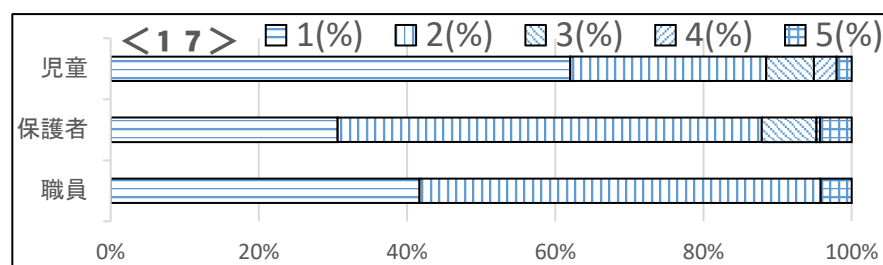
<16>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	安全に気を付けて登下校できている。	66	24	4.4	3	2.4
保護者	学校は、安全・防犯に関する教育を進めたり、安心・安全な環境づくりを進めている。	27	61	6.1	1.2	4.3
職員	不審者対策、登下校の交通安全指導や、児童が安心・安全な教室環境づくり(施設整備)などを進めている。	38	46	13	0	4.2

大変良好な結果である。児童間では、登下校時にトラブルが起きていることもたまにあるので、そういったトラブルが事故につながってしまわないよう、今後も指導していきたい。



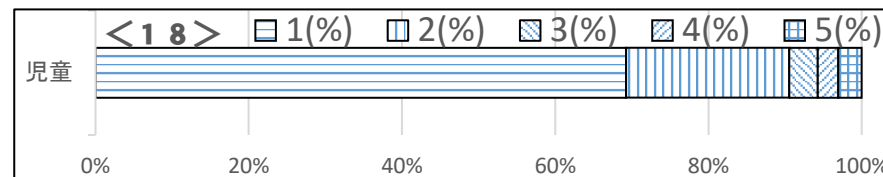
<17>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	病気やケガをしないように気を付けたり、好き嫌いをなく給食を食べたりしようとしている。	62	26	6.4	3.1	2
保護者	学校は、子どもが健康な生活を送ることができるように指導している。	31	57	7.4	0.5	4.3
職員	子どもたちが健康な生活を送ることができるように給食指導、保健指導に努めている。	42	54	0	0	4.2

大変良好な結果である。本校は、市内でも給食の残食率が少ない学校である。無理して食べるのではなく、個人にあった量を食べきる指導を通してこういう結果が出ているので、この先も続けたい。一方、けがの発生がやや多いので、具体的なけがの発生例を話し、防止に努めたい。



<18>	アンケート設問	1(%)	2(%)	3(%)	4(%)	5(%)
児童	外国語活動の授業に楽しく取り組んでいる。	69	21	3.7	2.7	3

今年度、市で外国語活動推進校として3・4年も外国語活動を行っている。授業を楽しみにしている児童も多く、好意的に受け取っている児童も多い。教え込みにならず、楽しんで学べる雰囲気作りを今後も追究していきたい。



3 学校評議員の意見

- ・来校したとき、近くにいた児童が門の開閉をしてくれた。その姿から、思いやりの心が育っているということを感じた。(＜2＞について)
- ・今の時代メールやラインなどの影響もあり、考えや思いを自分の自分の口で伝えることが難しいかもしれないが、少しでもそれができるようになるように指導の継続をお願いしたい。(＜3＞について)
- ・部活動の大会結果をホームニュースで見た。部活動に力を入れている学校は活気がある。ぜひがんばってほしい。(＜4＞について)
- ・子どもが分かりやすい指導を目指して一授業一工夫を実践してみえと聞いた。今は、分からないことも後になり気づくことがある。継続してほしい。(＜8＞について)
- ・東駐車場の出入口付近の止まれの表示が消えてしまっている。標識はあるので運転者は気づくと思うが、子どもが通るところなので、市に要望してほしい。(＜16＞について)
- ・学区内で住宅建設のため、土地の造成をしている。トラックなども通り危険である。注意を促してほしい。(＜16＞について)
- ・外国人の子や障がいがある子と一緒に学ぶ時代である。個に合った指導をがんばってほしい。(その他)